

H20シカ年度 知床岬エゾシカ密度操作実験 実施状況と今後の予定

1. H20シカ年度計画

平成20年から21年の越冬期において、知床岬地区でメス成獣120頭以上の捕獲を目標とする。

2. 実施状況

平成20年11月から12月にかけて日帰りの捕獲作業を3回実施し、合計50頭(うちメス成獣34頭)のエゾシカを捕獲した(表1)。その大部分は羅臼側一の沢付近の森林内で捕獲された(図1)。

また、死体の回収作業は12月24日に一括して1回実施し、合計10体のエゾシカを回収した。積雪が少なく草原台地上への集結が十分ではなかったため、林内での巻狩りによる捕獲を中心に実施した。また小規模少人数の巻狩りを繰り返して群れを攪乱、警戒させるよりも、実施間隔を開けて1回の捕獲に投入する射手を増員し、より大規模かつ確実に巻狩りを行ったほうが効率的と判断、全て日帰り捕獲で捕獲日数は3日だが、昨シーズンののべ48人を上回る58人の射手を投入した。

表1 エゾシカ捕獲個体の内訳

期日	メス		オス		合計
	0歳	成獣	0歳	成獣	
11月27日	1	26	4	7	38
12月3日	2	2	1	0	5
12月17日	0	6	0	1	7
合計	3	34	5	8	50

1歳以上の個体を成獣とする

参考 昨シーズン	メス		オス		合計
	0歳	成獣	0歳	成獣	
12月9-12日	2	23	6	1	32
1月23日	1	0	0	0	1
合計	3	23	6	1	33

第1回捕獲作業

実施日：平成20年11月27日(日帰り)

参加者：斜里猟友会員10名、羅臼猟友会員2名、財団職員8名、環境省1名
計21名(うち17名が射手)

捕獲数：38頭(メス成獣26頭、メス0歳1頭、オス1歳7頭、オス0歳4頭)

概要：06:21に相泊港出港、07:30に文吉湾(知床岬)入港。途中、船上から知床岬台地上に51頭のエゾシカを確認。文吉湾到着後、半島を東西に横断する隊列を組み、岬先端方向への巻き狩りを1回実施した。前回より射手を増員し、巻き狩り回数は少なくなるものの、より広い範囲を巻き狩りの対象にした。森林内の積雪は10~20cm程度であった。14:35に文吉湾出港、15:30に相泊港着。状況確認の為、捕獲作業には、環境省職員が同行した。

第2回捕獲作業

実施日：平成20年12月3日(日帰り)

参加者： 斜里猟友会員 12 名、羅臼猟友会員 3 名、財団職員 10 名
計 25 名（うち 20 名が射手）

捕獲数： 5 頭（メス成獣 2 頭、メス 0 歳 2 頭、オス 0 歳 1 頭）

概要： 朝 06:42 に相泊港出港、07:40 に文吉湾入港。途中、船上から知床岬台地上に 12 頭のエゾシカを確認。文吉湾到着後、半島を東西に横断する隊列を組み、羅臼側二の沢方向への巻き狩りを 1 回実施した。第 1 回とほぼ同様の巻き狩り手法を用いたが、捕獲数は 5 頭にとどまった。捕獲数が少数であった理由としては、第 1 回に比べて林内でほとんどシカの姿を見かけず、巻き狩りの範囲内にいたシカが元々少数であったためと思われる。草原部および森林内に積雪は暖かい日が続いたため、殆どなかった。13:40 に文吉湾出港、14:45 に相泊港着。

第 3 回捕獲作業

実施日： 平成 20 年 12 月 17 日（日帰り）

参加者： 斜里猟友会員 12 名、羅臼猟友会員 4 名、財団職員 8 名、
計 24 名（うち 21 名が射手）

捕獲数： 7 頭（メス成獣 6 頭、オス 1 歳 1 頭）

概要： 06:40 に相泊港出港、07:40 に文吉湾入港。途中、船上から知床岬台地上に 12 頭のエゾシカを確認。文吉湾到着後、半島を東西に横断する隊列を組み、羅臼側二の沢方向への巻き狩りを 1 回、文吉湾からヒヤラモイ湾にかけての斜里側林内での巻き狩りを 1 回実施した。林内におけるシカの目撃は、第 2 回同様、第 1 回に比べると明らかに少なかった。森林内の積雪は 10～20 cm 程度であった。14:45 に文吉湾出港、15:55 に相泊港着。

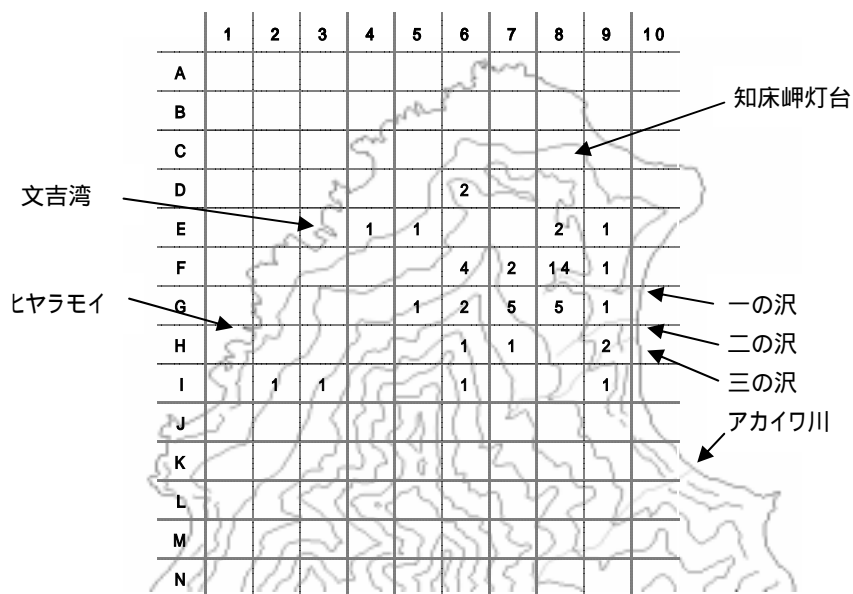


図 1 エゾシカ捕獲頭数(メッシュ別)

各メッシュ(250m 四方)内の数字はエゾシカ捕獲頭数を表す。

回収作業

実施日： 平成 20 年 12 月 24 日

参加者： 財団職員 8 名、環境省 1 名

回収数： 10 体

概要： 7:25 に相泊港出港、8:40 に文吉湾入港。捕獲個体の GPS 位置を頼りに探索し、死体の状況確認と回収を行った。捕獲された 50 個体のうち 32 個体の捕獲位置を確認、21 個体については捕獲位置及びその周辺に死体を確認できなかった。残る 11 個体は死体を確認、10 個体を回収した(1 個体回収できず)。回収された死体は全て、皮と四肢先端部など、体の一部が残る程度であった。13:31 に文吉湾出港、15:05 に相泊港着。相泊港にて、回収した死体を処理業者に引き渡した(業者計量では回収した 10 個体の総重量 60kg)。

3. 今後の予定

現段階では、年度内は 3 月の流水明け以降に大人数日帰り捕獲を 1 回、少人数宿泊捕獲を 1 回程度実施の予定。4 月以降については、もっとも捕獲効率の良い 4 月に作業を集中させ、目標達成を目指す。捕獲時期や手法については、流水やシカの集結状況等を鑑みて柔軟に対応したい。